

CASBEE® 広島

■使用評価マニュアル: CASBEE 広島 2016年版

┆使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)フローレンス宇品神田式番館	階数	地上10F
建設地	広島県広島市南区宇品神田5丁目3	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	XX 人
地域区分	6地域	年間使用時間	XXX 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅、工場、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年6月 予定	評価の実施日	2017年4月24日
敷地面積	450 m ²	作成者	和田 耕司
建築面積	333 m ²	確認日	2017年5月1日
延床面積	2,403 m ²	確認者	木谷雅司

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.6 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

環境品質 G

環境負荷 L

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (230 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 68% (156 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 68% (156 kg-CO₂/年・m²)

④上記+ 68% (156 kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5

Q1 室内環境: 3

Q3 室外環境(敷地内): 3

LR1 エネルギー: 4

LR2 資源・マテリアル: 3

LR3 敷地外環境: 3

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

音環境	2.6
温熱環境	2.5
光・視環境	2.5
空気質環境	4.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.5

機能性	4.2
耐用性	3.1
対応性	3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.9

生物環境	2.0
まちなみ	4.0
地域性	2.5

LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

建物外皮の	4.0
自然エネ	3.0
設備システ	4.6
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

水資源	3.0
非再生材料の	3.7
汚染物質	3.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

地球温暖化	4.2
地域環境	3.0
周辺環境	3.1

3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 3.4

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 3.8	スコア = 2.0	スコア = 3.1
設計の計画上特段に配慮した事項 住宅性能評価の省エネルギー 等級4が過半 // 節水器具の採用、エコキュートは追い炊き機能付き、照明器具はタイマーと明るさセンサーで過半を制御 // グリーン購入法の材料を極力利用する。 / 自転車の利用促進のため駐輪場、バイク置場を計画	設計の計画上特段に配慮した事項 /	設計の計画上特段に配慮した事項 住宅性能評価: 劣化対策等級を3とした。 /

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される